



希望

日立一高附属中学校
第1学年だより
No. 2
5月7日発行

5月

初心忘るべからず



入学してからの1ヶ月は、生徒たちにとって初めて経験することの連続であり、戸惑いながらも附属中生としての生活リズムに少しずつ慣れてきたのではないのでしょうか。

先月25日～26日には、「NTT～仲良く・楽しく・高め合う～思い出の1ページを刻もう」というスローガンのもと、生徒80名全員でオリエンテーション合宿を実施してきました。この合宿を通して、友達同士の仲も深まり、学年・学級としてのまとまりも出てきたように感じられます。そして、お互いがこれから6年間一緒に頑張っていく「仲間」であるという意識がさらに高まり、また、6年後の自分をイメージし、目標をもって頑張ろうという「決意」を新たにもつことができたのではないかと思います。

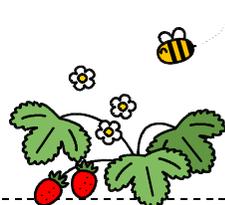
今月からは部活動も始まります。また、初めての定期考査もあり、学習面でも本腰を入れての取り組みが望めます。体力的にも精神的にも疲れが出る時期であるからこそ、ひとりひとりが「初心」を忘れず、一生懸命頑張ることを期待しています。そして、辛くなったときやへこたれそうになったときには、周りには仲間がいること、一人で頑張っているのではないということを思い出してほしいと思います。そうすれば、また一歩前に進み出す力がわいてくるはずですよ。ぜひご家庭でも、お子様の頑張っている姿を褒め、励ましの声かけをお願いいたします。

5月の行事予定

- | | |
|--|------------------------------------|
| 8日(水) 避難訓練(4校時)
部活動正式入部 | 22日(水) e ネット安心講座(6校時) |
| 9日(木) 第1回PTA全体委員会
委員会活動 | 23日(木) 生徒総会・壮行会(3・4校時)
内科検診(午後) |
| 10日(金) 進路ガイダンス(2校時) | 24日(金) 県北総体陸上(~25日) |
| 13日(月) 18日 代休日 | 26日(日) 考査前部活動なし(~30日) |
| 14日(火) 保護者面談(~20日) | 28日(火) 尿検査 |
| 18日(土) 授業参観(1校時)
PTA総会・学級懇談会
部活動保護者会 | 30日(木) 歯科検診 |
| | 31日(金) 第1回定期考査 |
- ※ 部活動正式入部後 完全下校18:15

《PTA総会の日程 18日(土)》

- | | |
|-------------|------------------|
| 8:35~9:30 | 授業参観 ※ 授業後に生徒は下校 |
| 9:10~9:45 | PTA総会受付(体育館アリーナ) |
| 9:45~10:45 | PTA総会 |
| 10:45~11:30 | 連絡・報告 |
| 11:45~12:45 | 学級懇談会(各教室) |
| 12:45~13:45 | 昼食(体育館アリーナ) |
| 13:45~14:45 | 部活動保護者会 |



◆前期学級役員紹介

	1組	2組
学級委員長	井伊 尊人	櫻村 優汰
学級副委員長	高橋 希々果	新間 千晴
学級書記	関 優太	櫻井 基瑛
学級書記	赤須 心音	小野坂 美海

◆学級目標が決まりました!

1組 勇往邁進 push forward

「目標に向かって、勇ましく前進すること」どんな場面、状況でも、自分たちで掲げた目標に向けて、一歩を踏み出すことを忘れず取り組んでいこう!という思いで決めました。また、桜の木には、4月に決めた「初心を忘れない」という思いが込められています。



2組 挑戦 挑戦無くしてチャンス無し

このクラスは、挑戦を通していろいろな成功や失敗をし、いろいろなことを学んでいきます。そして、その学んだことを生かしてチャンスをつかみ、可能性を広げていきたい!という思いを込めて決めました。

オリエンテーション合宿の思い出



「6年間の心構え」の研修を通して、夢をもつことの大切さや夢を実現させるための努力の大切さなどについて学ぶことができた。また、東京大学生のお話を通して、自分が将来どのようなことをしたいのか、大学生としての4年間で何を学びたいのかなど、将来を見通して、今のうちから「大学」について考えることが大切だと思った。

これらを通して、将来の夢に向かって、今から勉強に力を入れていきたいと改めて思うことができた。合宿の体験を、勉強だけでなく、生活にも生かしていきたい。(1組:長山 夏帆)



まだ4月で、まだ学校生活に慣れていなかったが、オリエンテーション合宿によって、附属中生になったという実感がわいた。特に心に残ったのは、教頭先生からの、とある野球選手の話である。自分は今、はっきりとした将来の夢を見つけられていないが、社会に出て、やりたいことはたくさんある。その野球選手は、夢を叶えるため、何をすればよいか考え、日々の積み重ねで、今、晴れやかな未来をむかえている。東大生も、中学生のころは将来の夢ははっきりしてなかったそうなので、これから附属中での学校生活を通して、学力や人間としての力を積み重ね、卒業の頃には、社会で輝ける立派な人間になりたいと思う。(2組:郷 日向子)

